

『小中一貫』だより

今年度も東陽中学校、高田小学校、川添小学校の3校で、小中9年間を見通した教育活動に取り組んでいます。大分市の小中一貫教育推進校の指定を受けて3年次を迎え、11月に「公開研究発表会」を実施し、研究の成果を発表することになっています。

【東陽中学校区の目指す子ども像】

- 授業に集中し、しっかりと考える児童・生徒
- 友だちと助け合い、励まし合い、教え合って互いに切磋琢磨する児童・生徒
- 自分の身体や健康に関心を持ち、生活を向上させようとする児童・生徒

【東陽中学校区の研究テーマ】

豊かな心を持つ児童生徒の育成 ～互いのおもいを伝え合い、認め合う活動を通して～

【5月9日(木) 第1回小中連絡会】

昨年度の小学校6年生担任3名が中学校を訪問し、中学1年生の授業風景や清掃の取り組みなどを参観しました。その後、中学校の1学年部教員と情報交換の時間を持ちました。

- ☆ 楽しく中学校生活を送れているようで安心しました。
授業態度、雰囲気も中学生になっていてびっくり！！
とてもよくがんばっていました。
今後もこの調子でがんばって下さい！！
- ☆ 無言で静かに掃除をする姿、成長を感じました。



【小中合同授業研究会 6月12日(水)、18日(火)】

12日は、道徳の提案授業を川添小で、算数・数学の提案授業を高田小で行い、中学校の教員が小学校の授業を参観しました。また、18日は中学校で道徳の提案授業があり、3校の教員で参観しました。授業後の事後研修では、それぞれ「伝え合い、認め合う活動」の場面を設定したり、思考ツールを活用し考えを深めたりする授業に取り組んでいるか等、これからの授業づくりにつながる話し合いができました。研修会後は、3つの領域部会(学習・生活・特別活動)に分かれ、今年度の取り組みを確認しました。

《小学校の提案授業》



《中学校の提案授業》



《事後研修の様子》

